

私が教師になった頃、教師というのは今よりもずっと尊敬される職業でした。それが、今はだいぶ変わってきているようで、どうも教師はあまり尊敬されていないようです。でも私は、教師は本来、尊敬されていていい職業だと思っています。教室ではいつも、一人です。会社のように監督されたり、指示を仰いだりということは、ほとんどありません。しかも相手は自分よりも幼い、若い、弱い人ばかりです。しかっても、子どもは文句を言いません。子どもが喜んだ顔をしたからといって、手放しでうれしがっているわけにもいきません。教室というのは、そういうこわい世界です。子どものように惑わされず、自分の指導が本当に正しいか、子どもに力をつけているか、それを見きわめ、自分で全部責任をとっていく存在なのです。ですから、大いに尊敬されていていい職業だと思うのです。しかしこのような覚悟がないと、優しければいい、子どもが好きだからいいというような、どうも甘えた考え方が強くなってしまいうようです。